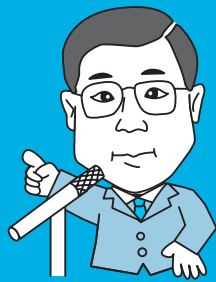


市長のまちづくりメッセージ



市役所では、毎月の初日（今回は12月1日）に「市長のまちづくりメッセージ」を放送しています。市民の皆さんと『共創・協働のまちづくり』を進めていくため、その一部を掲載します。

石城山神籠石について

本市の石城山をはじめ、西日本に分布する「神籠石」は、日本書紀などの古い文献に築造の記録がないため、謎を秘めた遺跡として、明治時代から「山城説」や祭祀を行う「神域説」など考古学者の間で論争をされてきました。石城山では、昭和38・39年に文化庁や県教委などによる学術的調査が行なわれ、「山城遺跡」という説が有力視されましたが、昭和54・58年に、この地を訪れた作家の松本清張さんは、神籠石の表面が外見を意識しての造りであることから、「山城と神域の折衷説」を唱えました。このほかにもさまざまな研究者などがこの地を訪れていますが、神籠石は今なお「いにしへのロマンが眠る古代遺跡」として、人々の興味を抱かせる貴重な財産です。そこで、国の史跡である「石城山神籠石」を文化財として保存していくことはもとより、九州に点在する8か所の神籠石をテーマとした交流を始めたかと考えています。



石城山神籠石の東水門付近

そのため、これまで全国市長会で東京した折に、関係市長にこつした考えを直接お話しするとともに、改めて佐賀県武雄市、福岡県久留米市、行橋市、前原市を訪問し、神籠石を活用した自治体相互の交流や市民による神籠石探訪などの交流、また国の史跡である神籠石の保存・研究など、さまざまなまちづくりへの活用の方策について、趣旨を説明してきたところです。訪問した市長さん方からは、私の提案に大賛成していただき、ハード事業よりもこれからはその地域に存在する埋もれた資源をまちづくりに活用し、地域の再生を図るべきとの賛同の声や、神籠石を活用した具体的な施策の話も伺いました。

何うことができました。市民や職員のみならずにも自分たちの住む地域にある「石城山神籠石」は、まさにまちの誇り、財産であることと改めて認識していただきたいと思います。こうした財産は、まだ皆さんの知らないすぐそこにあるかも知れません。自分たちの住む地域をもっと知り、誇りを持ってこれからのまちづくりに邁進していきましょう。

光地域広域水道事業について

光地域広域水道企業団は、将来の水需要に備え、周東町に建設した県営中山川ダムの水を上水道用などとして利用するため、当時の光市、大和町、熊毛町、周東町、玖珂町の1市4町で昭和57年12月に設立したものです。当初計画では、昭和63年度から給水開始の予定でしたが、ダム建設の遅れから平成7年度に延期。そして水需要が伸びないことから平成15年度に再延長、さらに平成25年度まで給水開始を再々延期してきました。その後、水需要の背景となった社会経済情勢は大きく変化し、経済の停滞や人口減少等から、現在では周南市熊毛地域を除き新たな水需要は見込めず、事業に対する抜本的な見直しが必要な課題となっていました。こうした中、今年2月、周南市から、他の構成団体に迷惑のからない方向で、島田川から取水し熊毛地域に給水を行いたいという意思が示されました。大型事業の方向転換は全国的にも例がない中、その後、国、県とも協議を続けた結果、このたびの企業団議会でも、中山川ダムの水利権を企業団の構成団体が分割する案により、一定の方向性を示すことができました。こうした事業等の再整理を含めた判断は、市長としても非常に大きな決断を有する政策課題です。しかし、いつまでも負の遺産を後世に負わせることなく、改革すべきものには勇気をもって立ち向かわなければなりません。本市の長年の懸案である広域水道事業がこのたびの方向性に添い、本間に市民の皆さんの利益に叶う事業となるよう、今後とも全力で取り組んでまいりたいと考えています。

新「光市」誕生1周年記念

NHKラジオ番組「真打ち競演」公開録音の入場者募集

日時 平成18年1月28日 18時30分～20時30分（開場18時）
会場 光市民ホール 大ホール

新「光市」誕生1周年を記念して、NHKラジオ第1放送の全国放送番組「真打ち競演」の公開録音を行います。ついては、入場者を募集します。番組では漫才・落語など演芸界の実力派を多数迎えて、お楽しみいただけます。たくさんのご応募をお待ちしています。



出演 1本目：青空球児・好児（漫才）、高松しげお（漫談）、古今亭志ん輔（落語）、2本目：ビッグボーイズ（漫才）、堺すすむ（漫談）、桂文楽（落語）、司会：西堀裕美アナウンサー（NHK山口放送局）
入場料 無料 入場整理券（1枚で2人が入場可）が必要ですが、申込方法 往復はがきの往信用裏面に郵便番号、住所、氏名、電話番号を、また返信用表面に郵便番号、住所、氏名を記入してお申し込みください。応募多数の場合は抽選。
応募先 〒7438501 光市中央六丁目1番1号 光市役所総務課「真打ち競演」係
募集期限 平成18年1月10日必着
放送予定日 【NHKラジオ第1放送・全国放送】平成18年2月21日 21時5分～21時55分、平成18年2月28日 21時5分～21時55分
問合せ 市役所総務課0833(72)1400またはNHK山口放送局083(921)3733

光市観光協会・大和観光協会合併記念

光っていいな！

フォトコンテスト

光市観光協会と大和観光協会の合併を記念して、「光っていいな！フォトコンテスト（第二期）」を次の要領で実施しています。たくさんのご応募をお待ちしています。

題材 市内で行われる四季折々のイベント、景色、町並み、史跡、文化財、自然などです。作品は、絵はがき、観光パンフレット、観光名刺、ホームページなどに使用する予定ですので、芸術性に商業性も加味して審査します。
応募資格 どなたでも応募可
募集期間
・第2期 12月1日～3月31日
締切期日 4月末日
・第3期 4月1日～7月31日
締切期日 8月末日
応募方法 応募作品の裏面に「氏名」「住所」「電話番号」「題名」を記入した用紙を貼付して、持参または郵送してください。
応募規格 カラープリント・四つ切サイズ。入選作品は、ネガ、ボジ、画像データなどの提出が必要。入賞作品
大賞 3期を通じて1点 賞状および副賞（商品券3万円分）
特選 各期ごとに1点 賞状および副賞（商品券1万円分）
入選 各期ごとに3点 賞状および副賞（商品券3千円分）
佳作 各期ごとに5点 賞状および副賞（商品券千円分）
大賞は、各期ごとの特選、入選、佳作の中から3期を通じての最優秀作品となります。
発表 各期ごとに観光協会事務局に掲載するとともに、広報ひかりおよびマスコミに発表します。
審査員 観光協会委託の審査員および観光協会関係者で審査します。
応募規則 応募作品は返却しません。未発表作品に限りません。
版權 入選作品の版權は、光市観光協会に帰属します。
問合せ 光市観光協会 〒7438501 光市中央六丁目1108 33(72)1400